

## 2. 地域に顔の見える運動、情報発信の取り組み

「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けては、連合運動の社会的認知度を高め、国民的な論議を呼び起こし、運動の波及効果を高めていくことが必要です。社会性の高い活動に、引き続き取り組むとともに、適時適切な情報発信に努め、地域に顔の見える運動を推進します。

### (1) 労働相談の対応

- ① 広告媒体を用いた周知や街宣活動などにより「労働相談ダイヤル」の地域への一層の定着をはかるとともに、認知度向上のための広報ツールの研究を行います。
- ② 労働相談の担い手の育成と体制強化をはかるため、連合本部や（公財）全国労働基準関係団体連合会（全基連）主催の研修等に参加し、実務知識の習得に努めます。  
また、全国一斉集中労働相談の実施にあたっては、対応能力の向上をはかる観点から、構成組織・地協等に対して積極的な参加を呼びかけます。

### (2) 福祉・教宣活動の取り組み

- ① 連合岡山の活動を組織内外に周知し、連合運動に対する理解促進をはかるとともに、労働組合の社会的影響力の拡大に取り組むため、連合岡山ニュースやホームページ、Facebook等の広報ツールを活用し効果的に発信します。また、労働相談を中心としたテレビCMのスポット放送を検討、実施します。
- ② 地域に根ざした顔の見える運動の一環として各地協から地協ニュースの発行と Facebook の運営を実施します。また、地協ニュース、Facebook を連合岡山ホームページへ掲載し、全体での波及効果を高めていきます。
- ③ インターネット環境の整備は重要度を増しています。Web制作会社との契約を見直し、ホームページの変更、修正等、より円滑、適正な運用を行います。
- ④ 学習機会の提供や次代を担う労働運動のリーダー育成に向けて、連合岡山の「教育・研修の基本方針」を基軸に、時々の情勢も踏まえつつ、各種学習会・研修会を着実に実施します。  
この中において、労働組合の存在とその役割、労働運動の意義などについて理解を深め、再認識するためにも「労働組合の歴史」に関する学習会の開催や、大学において単位認定科目の位置付けで講座全般の企画・運営に主体的に関わる「寄付講座」の開設も検討します。
- ⑤ 組合員福祉の一環として、こころの会との連携したメンバーズカードの利用促進に取り組めます。また、各種チケットの販売・斡旋を行います。

### (3) 地協活動の取り組み

- ① 地協は、連合加盟組合員や地域住民にとって、一番近い存在であるため、連合岡山との密接な連携のもと「地域に根ざした顔の見える運動」の具現化に向けて取り組めます。
- ② 毎月、05日（れんごー）の日に合わせ、地域連絡会の割り当てにより、スポット街宣あるいは流し街宣等の街宣活動を行います。実施にあたっては、組織内議員・協力議員等との連携を密に対応します。

#### **(4) 労働福祉団体との連携**

- ① 各地協と連携し、地域の労働者、生活者の相談拠点であるライフサポートセンターの運営を支援します。
- ② 労福協、労金、全労済と連携し研修会の開催なども含め、労働者の生活支援に取り組みます。